

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

国際・地域連携センター ニュースレター 〈第34号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者: 吉用武史

はじめに

地(知)の拠点整備事業(COC) 全国ネットワーク化シンポジウム

高知大学主催により、文部科学省 COC 事業に採択された機関および申請検討機関とのネットワーク化を目指したシンポジウムを開催しました。ネットワーク化により全国の大学等が課題や対策について情報共有し、以て全国の COC の取り組みの底上げを図ることが目的です。

日時:平成26年3月11日(火)13時~17時

場所:イイノホール&カンファレンスセンター
(東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビル)

年度末の多忙な時期に関わらず、主に大学等を中心に約200名にご来場いただき、また、全国の採択機関52のうち、39機関が参集し、本シンポジウムの必要性が強く感じられる内容となりました。シンポジウムの詳細な内容については、報告書として纏める予定ですので、ご興味・ご関心ございましたらセンターまでご一報ください。



目次

p1 はじめに

p2 地域連携・再生部門

Topic1. 地域課題解決に資する「地域志向研究」
発表会

Topic2. 土佐 FBC 第6期生

修了式及び成果発表会の開催

p3 産学官連携部門

Topic1. 歩き遍路が心と体に与える影響調査

Topic2. 【日中大学フェア&フォーラム in CHINA】への
参加

p4 知的財産部門

Topic1. 四国産学官連携イノベーション協働推進機構
新技術説明会 JST 東京本部にて開催

p5 国際連携部門

Topic1. 第2学期日本語予備教育コース閉講式を開催

Topic2. 外国人留学生の地域交流

Topic 1. 地域課題解決に資する「地域志向研究」発表会

高知大学 COC 事業である「高知大学インサイド・コミュニティ・システム(KICS)化事業」の一環として、地域志向研究発表会を開催しました。

日時:平成26年3月6日(木)13:30~16:30

場所:高知県工業技術センター

KICSにおいて、地域の課題解決に資する研究を支援するための経費として、「地域志向研究経費」を用意しました。本研究は、その成果を地域に還元することが強く求められる性質のため、地域の企業およびコミュニティに対する研究紹介の場として上記発表会を開催しました。また、他大学等においても同じく地域課題解決に資する研究を実施している研究者にもご発表いただき、県内高等教育研究機関が連携したシーズ発表会となりました。

主に企業等を中心に約40名が参加し、また、研究者との個別の相談会も行われました。地域志向研究経費は平成26年度以降も実施する予定ですので、本発表会も継続いたします。



Topic 2. 土佐 FBC 第6期生 修了式及び成果発表会の開催

食品産業中核人材育成事業である土佐フードビジネスクリエーター(FBC)人材創出は、平成20年度から開始し、平成25年度に高知県をはじめとした地域からの寄附講座となったことから、4月から第2期土佐 FBC として再スタートしました。3月7日に修了式を行い、土佐 FBC の第6期生であり、第2期としては初めての修了生39名を送り出すことができました。

修了式後は、成果発表会を開催し、4名の修了生に受講の成果を発表いただきました。また、馬路村農業協同組合の東谷組合長に「柚子の市場開拓から始まった地域づくり」と題して基調講演いただきました。

日時:平成26年3月7日(金)

修了式 11時~11時30分

成果発表会 13時30分~16時45分

場所:高知城ホール



Topic 1. 歩き遍路が心と体に与える影響調査

「お遍路さん」が心と体にもたらす効能を調べる実証実験のため、3泊4日（全行程60km）の日程で県内7か所の札所を巡り、血液検査や活動度の検査を行いました。

本実験は（独）産業技術総合研究所と連携し、後年実施予定の一般民間人を対象とした、歩きお遍路生体影響調査研究の事前準備として、高知大学教職員及び（独）産業技術総合研究所の職員を対象とした予備試験として実施しました。

実施期間：平成26年2月24日（月）～2月27日（木）1日5～6時間歩行
データ収集内容：血液、尿、唾液、心拍変動、活動度、疲労度、ストレス状態



Topic 2. 【日中大学フェア&フォーラム in CHINA】への参加

中国教育部留学服務中心主催の第19回「中国国際教育巡回展」の場を借り、独立行政法人科学技術振興機構の主催により「日中大学フェア&フォーラム in CHINA」が北京、上海にて開催されました。（本学は、3月19日（水）から3月23日（日）の5日間、上海コースへ参加）

フェアは研究成果、留学情報を展示することにより、日中の研究協力の強化、優秀な人材の獲得を目指すことを目的に開催し、本学のブースへも多くの方が立ち寄り、今後の成果が期待できるフェアとなりました。

また、フォーラムは「日中における産学連携の現状と課題」「大学の役割および国際人材の育成」の2大テーマのもと、産学連携における国の施策と支援制度、国際産学連携、大学工学部のあり方、日中大学間の人材育成協力等について、大学関係者のみならず、日中双方の産業界の方も参加し議論しました。



Topic 1. 四国産学官連携イノベーション協働推進機構 新技術説明会 JST 東京本部にて開催

四国産学官連携イノベーション共同推進機構
新技術説明会
New Technology Presentation Meetings!

分野 創薬、分析、製造技術
開催日 2014年2月25日(火)10:30~16:00
会場 JST東京本部別館ホール(東京・市ヶ谷)

JST 独立行政法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

2月25日(火)、JST東京本部別館ホール(東京・市ヶ谷)において、「四国産学官連携イノベーション共同推進機構 新技術説明会」が開催されました。来場者数は約108名でした。

高知大学からの発表者は以下の2名で、成功裏に終えることができました。各発表について約30~50人と多くの視聴者があり、全ての説明者に対して、名刺交換および個別面談の申込みがありました。共同研究や技術移転に繋がる可能性がある企業からのアプローチも複数社あり、今後の進展が期待されます。

1. 教育研究部 総合科学系 複合領域科学部門(IMT): 片岡 正典 特任講師
「新規モノマーによるRNA液相合成法」
2. 教育研究部 総合科学系 複合領域科学部門(理学部): 米村 俊昭 教授
「付加的な要因で発光性を発現する無機-有機ハイブリッド材料」



Topic 1. 第2学期日本語予備教育コース閉講式を開催

2月4日（火）に日本語予備教育コース閉講式が行われ、日本語予備教育修了生（フィリピン：大使館推薦による教員研修留学生（国費外国人留学生）1名に、菊地副学長（国際・地域連携担当）から修了証書が授与されました。

修了生は、日本語能力試験2級程度のレベルを目標に半年間学習してきました。閉講式では、修了証書授与の後、修了生から「ひらがな、カタカナを覚えるのは苦手ですが、一生懸命に頑張って周りの人と話をしていきたい。勉強する機会を与えてもらったことに感謝し、今後も努力していきます。」と日本語で謝辞が述べられました。



Topic 2. 外国人留学生の地域交流

2月9日（日）に朝倉小校区青少年育成協議会主催で、朝倉中学校の生徒を対象にした料理教室が朝倉ふれあいセンターにて開催されました。

今回のテーマは「フィリピン料理に挑戦！」で、本学のフィリピンからの留学生、アレックスさんとラリーさんが講師に招かれ、エビのサワースープと茄子揚げの作り方を指導しました。朝倉中学校の生徒たちは熱心にメモをとったり、質問したりしてフィリピン料理作りにチャレンジしました。料理はなかなかの出来栄で、参加者一同で試食し、「酸味が効いていて、おいしい」、「野菜たっぷりで健康的」、「家でも作りたい」との感想が寄せられました。当日は中学校の生徒たちだけでなく、朝倉中学校の先生及び青少年育成協議会のメンバーも参加され、食を通じて、国際交流、国際理解を図ることができました。

